

令和4年度 事業計画

第1 基本方針

2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、多くの死者が出るなどのパンデミックを引き起こし、世界の研究者・医療従事者・国民等が一丸となってワクチンの開発・生産・接種等防止対策に取り組んできたが、ウイルスも変異を繰り返し政府や知事の発布する「緊急事態宣言」や「まん延防止措置」等感染防止等対策も余儀なく繰り返され、現在も道内全域の医療施設に障害をきたすほどの高い感染率保った第6波の感染症が続いており、「まん延防止重点措置」の延長が発布される状況になっている。

感染症発生後のこの2年間は、当会組織団体の地理的面や役員の年齢的体力面の他会議開催適地とする札幌方面の感染状況が高止まりとなることが多く、幾度の開催計画も直前に中止せざるを得ない状況にあり、役員一同による対面会議の実施は1度にとどまり、事業展開に関する意見交換等の減少、また感染症防止措置等に伴う建築技能者等の人流や個人行動の自発的抑制などにより、事業活動の積極的な取組等に支障をきたしたことから、新年度事業計画に係る本第3回理事会の開催を通常対面開催の実現を願っていたが、高止まり現状の感染症防止対策の事情等から書面表決による開催とし、5月開催の定時総会等対面会議において修正協議等を行うこととした。

道内行から2021年12月に示された日本経済見通しによれば、22年度の国内の経済展望は新型コロナウイルスの影響が和らぎ海外経済や企業収益の回復、雇用・所得情勢の改善などを受けて、原油価格の高止まり等による家計負担の増加などの悪影響はあるものの、個人消費や設備投資、輸出増加の後押しなどにより景気の回復基調が持続されるものと予測され、また北海道経済の見通しについては、実質道内総生産は新型コロナ前の2019年度の水準に届かないが持ち直し基調が持続し、民間住宅投資関連は、持家や分譲戸建て住宅は減少するものの貸家や分譲マンションの増加が押し上げ材料となり、住宅着工数全体では前年を上回るが持家は前年の高水準から小幅に減少すると思われるが、貸家は次第に供給過剰感が薄らいでくることなどから増加に転じるものと予測されていたが、年明けには変異した新型コロナウイルスの発生などにより第6波の感染拡大が全国的に高まり、道内全域にも医療逼迫も心配されるほどの感染拡大状況となり、感染者の減少速度が早まっている兆候が見られる中にも新株ウイルス感染者も確認され終息時期の予測がつかない中に、さらにはロシアによるウクライナ侵攻に伴う世界の経済制裁措置等により、燃料や物価の高騰に加え建築資材・建築設備等機器の価格高騰や品不足が工事原価に影響を及ぼすものと思われる。

一方、当連合会工務店団体及び建築工務店を取り巻く環境は、熟練技能者の高齢化に伴う退職・離職者の増大に反比例し、「建築業」や「ものづくり技能」に夢を抱いて新規入職する若者の減少が顕著に表れており、次世代の地域建築業を担う若年技能者の養成・育成不足の対応が全道的喫緊の課題になっている。

建築技能者を養成するべく道立技術専門学院や地域の認定訓練施設等の新規入学生確保も、建築業界に対する処遇や将来的不安等からやむなく他職種に進路転換する若年者も少なくなく、募集活動に苦慮している状況にある。

また、経営業務的にはユーザの求めや国の制度等から、耐震・耐久性、低炭素・省エネの他、費用軽減を取り入れた長期優良住宅などの要素となる地域型住宅グリーン化事業等の取組みの他、人材確保の観点から建設キャリアアップシステムの導入等が一層求められる状況になっている。

住宅建築を主事業とする当会会員団体事業所は、事業所経営に必要不可欠とする住宅性能表示・住宅履歴情報などの管理や長期保証などの他関連する情報収集、研究・研さんには事業所個々に日々努めているが、これらの諸課題に対処していくために当連合会は会員事業所等が一同に会して、事業所の経営改善や改革・事業所相互に生かされる情報の共有化・事業所活動の協業化等の情報収集を図られるようコロナ化で延

期していた「北海道建築研修大会」を開催できるよう取り組むこととする。

また、連合団体としての社会的役割と責任を自覚しつつ、会員団体の理解と真摯な協力の基に地域技能者の安全教育や技能講習等の事業展開を推し進めるため、講習等の少数受講者開催が容易になるよう受講料等の改訂を行い、地域事業所技能者全体の技能向上や資質の向上を図るとともに、会員外事業所に対し加盟促進を図る。

さらに、若年入職者の増加を図るため、「北海道建築大工技能競技大会」の実施要項等の改善とともに、道立学院や他関連施設との協力態勢を推し進める。

事業の具体的推進にあたっては、一層の業務改善及び経費の節減に努めるとともに4委員会の効果的な活動改善や財務に見合った事業の改善・展開を図り、運営の安定化に取り組むこととする。

第2 総務企画（特別委員会）に関する事こと

1 組織管理運営

本会事業を適切に推進するため、次の諸会議を効果的に実施する。

- (1) 総 会 1回(5月30日(月))
- (2) 理事会 3回(5月30日、10月21日、2月27日)
- (3) 専門委員会 総務企画委員会(適宜開催)、経営改善委員会(休止)、
会員啓発・福利厚生委員会(休止)、技術技能委員会(9月29日)

2 会員の拡充促進

組織の継続を図るため全会員団体が一丸となって会の事業の充実、協力体制強化に努め、会員団体の拡充や未加入事業所の入会促進に努める。

3 全国的組織団体への参加・加盟

本会の組織強化・会員拡充のメリット等を図るため、全国的組織団体への加盟・事業展開に参画し当会会員団体の要望等を国政に伝えるとともに、国の方策や支援事業等に係る情報等の収集を図る。

- (1) 全国的新組織の設立又は加盟等に係る説明会等への出席
- (2) 建築関連情報の収集と会員団体への周知

4 関係機関・団体との連携強化

本会並びに会員団体及び構成事業所の社会的、経済的地位の向上を図るため、行政機関・関係団体等との連携を強化する。

- (1) 北海道に対する行政施策の要望、連携及び協力
- (2) 住宅金融支援機構、住宅保証機構との連携及び共催事業の推進
- (3) 北海道職業能力開発協会及び北海道技能士会等関係団体との連携及び共催事業の推進
 - ① 北海道技能士フォーラム(本大会) 令和5年2月11日(土) 開催地未定
 - ② 第53回北海道職業能力開発促進大会 令和5年2月17日(金) 開催地未定

5 活動費増収対策の強化

本会の財務基盤の安定を図るため、講習及び教育等法改正等について会員内外への周知と受講者の確保を強化するとともに地域開催を積極的に展開し、会員外事業者に会員団体の存在と活動意義を知らしめ、団体加入への勧誘、促進に努める。

第3 経営改善委員会に関する事こと

1 北海道建築研修大会の実施

会員事業所が抱える経営改善、人材不足等共通の諸課題について、会員相互が情報・意見交換ができる機会をとおして、経営改善の知識、手法を高め、さらには会員事業所相互の連携体制の構築及び強化を図るとともに、研修大会において当会並びに地建築業界等の発展に貢献した会員団体及び事業所並びに個人及び優秀技能者等を表彰し、その栄誉を広く知らしめ団体加盟の意義の啓発・高揚を図ることを目的に当会の主事業の一つとして隔年展開を計画し本年が開催年にあたる。

2年度実施で主幹団体にあたる網走建設工事業組合事務局とともに準備を進めてきところであったが、新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言、まん延防止措置等によりやむなく中止せざるを得ない状況となり、3年度も同様の感染状況から開催を見送ってきた。

2月末の全道の現状において病床の使用率40%前後の水準で推移しているなど依然として医療の逼迫が続いている状況を踏まえ、まん延防止等重点措置の延長が検討される現状にあり、終息の目処が立たない中に第7波到来も懸念されることから、本4年度の開催も非常に難しい状況にあり、必要な準備期間もあることから主幹団体（網走建設工事業組合）や理事会の協議をとおして開催可否を決定することとする。

開催地	網走市
開催日	令和4年度 理事会・定時総会時に報告

2 住宅保証制度並びに適合証明検査業務(フラット35S)の普及促進

会員事業所の経営基盤の強化と信頼性確保を図るため、「住宅性能保証制度」等の普及啓発を推進する。

- (1) 一般事務機関受託会員(釧路、函館、帯広、旭川、胆振)による普及活動及び検査業務の実施
- (2) 瑕疵保証、完成保証、中古住宅保証等諸制度の普及・啓発

3 経営改善関連各種事業への参加

- (1) 北方型住宅会議(道主催)等に参加し、北方型住宅の新展開について検討する。
- (2) 北海道の住宅建築関係事業者支援協議会等に参画し、関連講習会の開催に関わり情報の共有を行う。
- (3) 福祉用具、住宅改善広域支援事業協議会(道社会福祉協議会主催)に参加し、介護リフォームへの参入方策について情報収集を行う。

4 住宅建築等に関する法・制度改正への情報提供・周知

法、制度改正に対して、情報を的確に把握し、会員への提供・周知の徹底を図る。

- (1) 建築基準法改正内容の情報提供・周知
- (2) 労働安全衛生法改正内容の情報提供・周知
- (3) 瑕疵担保保険に関する改正内容の情報提供・周知
- (4) 金融支援機構融資制度に関する情報提供・周知
- (5) 社会保険未加入対策の積極的な取り組みと推進に関する情報の提供・周知

第4 技術技能委員会に関する事こと

1 全道建築大工技能競技大会の開催

「高校生等若年者に大工技能の魅力や技能競技大会への挑戦をPRし入職促進を図るとともに、若年技能者及び中堅技能者の技能習得意欲の啓発・向上と技能尊重気運の醸成を図る」ことを目的に当会が大工技能者を養成・育成する主たる事業として掲げているものであるが、本年度は当会運営の適正計画に基づく隔年未開催年にあたることから次年度に向けた準備に取り組む。

例年多数参加いただいている道立技術専門学院も建築科学生の入学者減少や伴う指導態勢が厳しくなっている現状の中に、新型コロナウイルス感染症による一時の訓練休科や指導員の濃厚接触者待機などにより定められた訓練時間の対応に苦慮している現状から、大会参加者に向けた別途指導に余裕のない状況となっていることと、本大会が五輪選考大会でなくなったことに伴い参加料を以前同様に増額したことから、生活面に余裕のない学生の参加が厳しくなるものと予想される。

住宅建築の次世代を担う若年技能者の養成・育成が地域工務店に課された喫緊の課題でもあり、建築大工に将来を懸けた若年技能者への対応・意欲・喚起を図るため、委員会協議等とおして、参加しやすい環境作りに取り組むこととする。

日 程	令和5年 未開催年（隔年開催）
会 場	道立職業能力開発支援センター実習室（白石区東札幌）
競技種目	成年組一級・成年組二級・少年組・少年規矩術組（仮称）

2 全国的技能競技大会への出場選手推薦

「道内建築技能者の水準向上及び社会的地位の向上を図るため、全道建築大工技能競技大会上位入賞者を北海道代表選手として北海道職業能力開発協会長に推薦する」

第32回技能グランプリ

日 程	令和5年2月17日（金）～ 2月19日（日）
会 場	未定
候 補 者	過年度全道建築大工技能競技大会成年組一級1位の者で 出場希望者がいれば推薦

3 建築技術者、技能者の育成

建築士及び施工管理技士等の資格取得及び技能従事者の能力向上に関連する情報等案内の提供とともに、作業主任者技能講習（型枠・地山の掘削及び土止め支保工・木材加工用機械・足場の組立て・木造建築物組立て）や特別教育（研削砥石・丸のこ・足場作業・安全帯）の有資格の啓発と知識等の向上を図る。

4 作業主任者技能講習の実施

地域の建築・建設現場における労働災害の未然防止の観点から、会員内外建築技能者及び建設労働者の安全作業に対する意識啓発及び理解を高めるため、労働安全衛生法に基づく下記技能講習等の開催を積極的に開催し、会員工務店等の経営安定に資する技能労働者の健康保持及び有資格者の拡大に取り組むこととする。

また新規入職技能者の減少や安全作業無意識などの起因から、講習種目によっては開催できる数の受講者確保が難しい状況にあり、当教習機関登録全種目の開催に影響

を及ぼす状況になっている中にも、資格を必要とする事業所及び技能労働者もいることから、当会事業として成り立つ範囲（受講数）の開催を容易にするため、受講料の改訂を行うとともに、会員事業所のメリット等を図る。

[講習種目] 「足場の組立等、木造建築物の組立等、木材加工用機械、型枠支保工の組立て等、コンクリート造の工作物の解体等、地山掘削及び土止め支保工」
◎別添資料 技能講習・能力向上計画のとおり

5 特別教育・安全教育等の実施

会員内外の建築・建設現場の労働災害の未然防止を図るため、労働安全衛生法に基づく「足場の組立て等作業従事者特別教育」「携帯丸のこ作業従事者教育」の他、「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育」等の講習を、会員団体が地域の小規模事業所に代わって展開することし、積極的な取組みを図る。

◎別添資料 作業従事者教育計画のとおり

6 能力向上教育(足場)の実施

会員内外の建築・建設現場の労働災害の未然防止を図るため、労働安全衛生法に基づく作業主任者講習修了者を対象に、足場の組立時、変更時、解体時の点検者に係る「能力向上教育（概ね5年ごとの定期教育）」を積極的に展開することとした取組を図る。

◎別添資料 技能講習・能力向上計画のとおり

第5 会員啓発・福利厚生委員会に関する事こと

1 各種表彰・顕彰の実施及び推進

業界の発展に功績のあった会員団体及び事業所並びに個人及び優秀技能者に対し北建連理事長表彰を行うとともに、行政官庁並びに全国規模団体が行う表彰・顕彰に候補者を推薦する。

(1) 北建連理事長表彰

会員団体が推薦する業界発展功労者、勤続功労者、技能功労者、審査委員功労者に対して表彰状を授与する。（隔年開催の北海道建築研修大会の式典にて行う）

(2) 北海道知事表彰

表彰推薦上申団体（北海道職業能力開発協会）に、候補者の地域や建築業界における功績等について強く働きかけ、受賞の容易性を図る。

ア 北海道産業貢献賞

イ 優秀成年技能士

ウ 知事感謝状

(3) 大臣顕彰・表彰

北海道庁をとおして積極的に推薦する。

